

第5回 ボランティア養成講座

震災時に障害のある子ども達を守るには…② ～学校と地域が連携した訓練に向けて～

知的障害をもつ子ども達を震災から守るために、地域としてどのような連携や取り組みが必要でしょうか？震災時に特別支援学校の教員や保護者が必要としている支援、地域における災害時支援ボランティアの必要性についてお話を聞きます。そして、地域としての防災体制のあり方について、みんなで考えます。

日時：平成24年7月7日（土）14:00～16:30

講師：東京都立調布特別支援学校 教員、保護者、調布市役所、調布消防署、調布警察署の方
(司会) 電気通信大学情報理工学研究科 准教授 水戸和幸

会場：電気通信大学 80周年記念会館3階
東京都調布市調布ヶ丘1-5-1（京王線調布駅北口より徒歩5分）

受講料：無料

対象者：一般の方（高校生以上）（先着順30名）

申込方法：ホームページ、又は電話

電気通信大学研究協力課（TEL042-443-5138）

<http://www.ccr.uec.ac.jp/activity/kouza/index.html>

主催：東京都立調布特別支援学校リソース・ネット
<http://www.human.inf.uec.ac.jp/resourcenet/>

共催：電気通信大学、東京都立調布特別支援学校
（電気通信大学と東京都立調布特別支援学校は、平成21年に教育連携協定を締結しています）



東京都立調布特別支援学校では、8/29（水）、9/26（水）に学校・保護者・地域の連携による総合防災訓練を実施します。福祉避難所や帰宅困難者支援ステーション設営等のボランティアを募集しています。

問合せ先：東京都立調布特別支援学校 沖山、秋本（Tel: 042-487-7221）